MEGシリーズ

OLEDモニター

MEG X (3DE5)

ユーザーガイド

目次

ご使用の手引き....3

パッケージの内容....3

モニター製品の取り出し方法....4

VESAアダプターキットの取り付け (オプション)....6

モニターの調整....8

モニターの概要....9

モニターをPCに接続する....12

OSD設定....13

Naviキー....13

ホットキー....13

OSDメニュー....14

AI Navigator (AIナビゲーター)....15

Gaming Features (ゲーム機能)....18

Mode (モード)....21

Input Source (入力源)....22

PIP/PBP....23

MSI OLED Care....24

General (全般)....26

仕様....28

プリセットディスプレイモード....30

トラブルシューティング....35

安全に関する注意事項....36

TÜV Rheinland認定....37

規格について....38

改訂

V1.0, 2026/08

ご使用の手引き

この章では、ハードウェアのセットアップ手順について説明します。機器の接続時には、機器の持ち運びに十分注意し、静電気防止用に接地されたリストストラップを使用してください。

パッケージの内容

ドキュメンテーション

- クイックスタートガイド

付属品

- VESAアダプターキット
- VESAアダプターキットネジ
- 電源コード
- クリーニングクロス
- カラーレポート（オンライン色校正レポート）

ケーブル

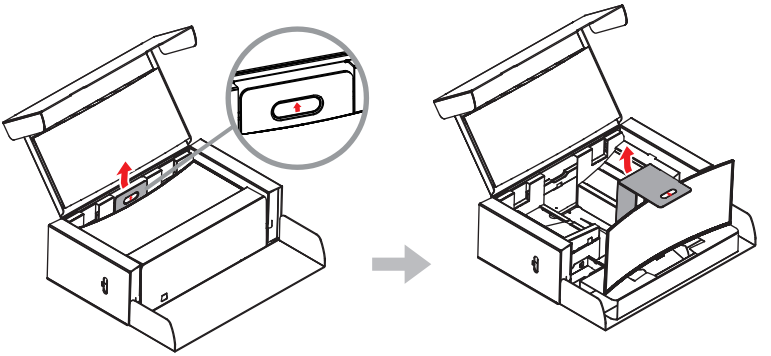
- USBアップストリームケーブル (USB Type-Bアップストリームポート用)
- USB Type-Cケーブル
- DisplayPortケーブル
- ウルトラハイスピードHDMI™ケーブル

注意

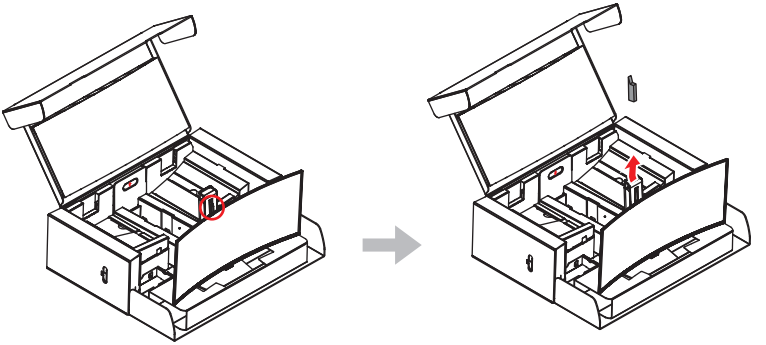
- *アイテムのいずれかが破損しているか不足している場合は、購入先または現地販売店にお問い合わせください。*
- *パッケージの内容は国やモデルによって異なる場合があります。*
- *この製品に付属している電源コードは、同梱のモニター本体専用です。同梱のモニター本体以外の他の製品には使用しないでください。*

モニター製品の取り出し方法

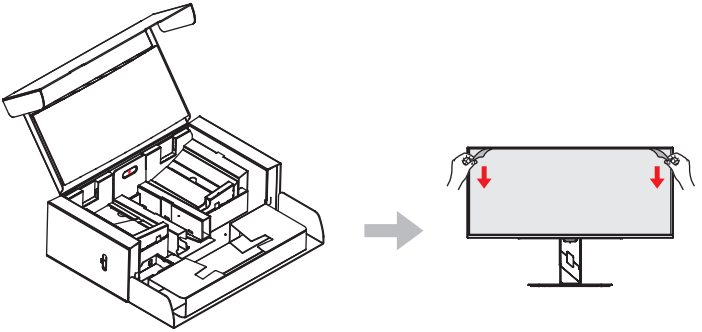
1. 箱の上部を開き、持ち手部分を探します。
2. 持ち手部分を使用して、モニターを慎重に持ち上げ、垂直にします。



3. 持ち手部分を取り外し、スタンドストッパーを外し、スタンドのロックを解除します。



4. モニターを垂直に持ち上げ、箱から取り出します。
5. 使用前にディスプレイ表面に貼られている保護フィルムを剥がしてください。

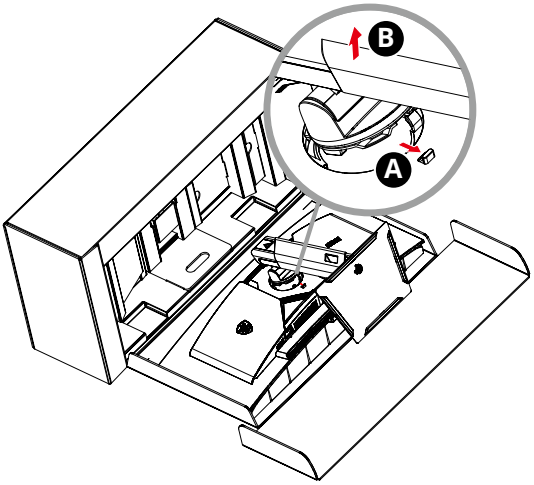


注意

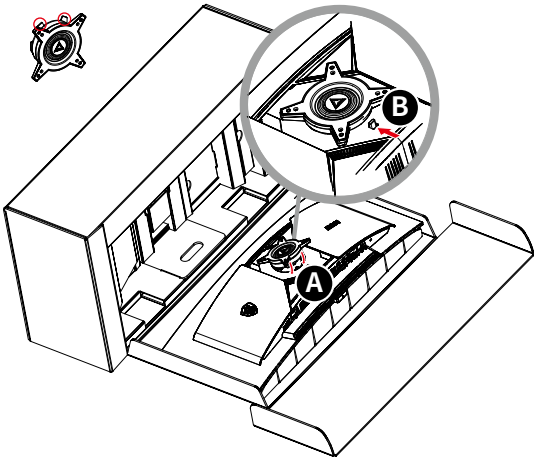
- *モニターを移動または持ち上げるときは、パネル面に触れないでください。破損の原因となります。*
- *パネルに尖ったものを使用しないでください。*

VESAアダプターキットの取り付け (オプション)

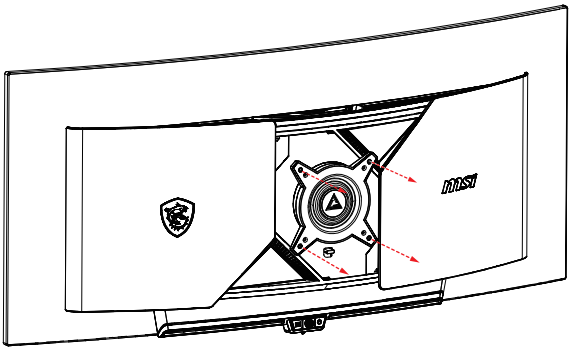
1. パネル面を下向きにして梱包材に乗せます。
2. スタンドのロックスイッチを下方向に押してロックを解除し、モニタースタンドを取り外します。



3. 付属のVESAアダプターの突起部分をスタンド取り付けの差込口に合わせて差し込み、アダプターが固定されるまで押し込みます。スタンドのロックスイッチを上方向に押し、アダプターをロックします。



4. アダプターの4つのネジ穴を使用して、対応するモニターアームまたはVESAマウントプレートに固定します。

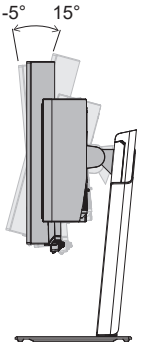


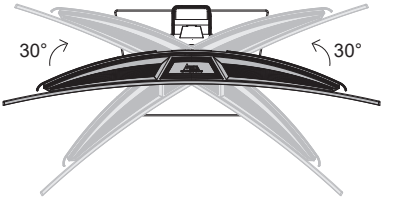
モニターの調整

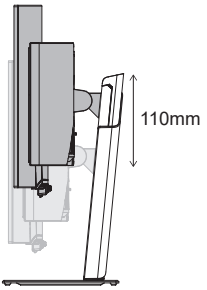
このモニターは、調整機能を使って、最適に視聴できるように設計されています。

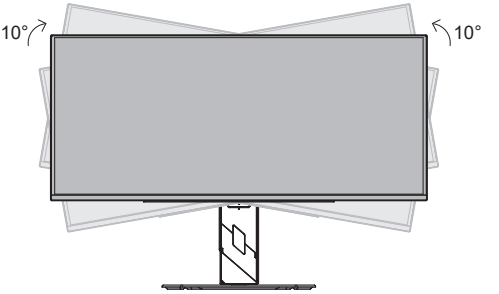
注意

- *モニターを調整するときは、ディスプレイパネルに触れないでください。*
- *モニターを後方に少し傾けてから縦回転させてください。*

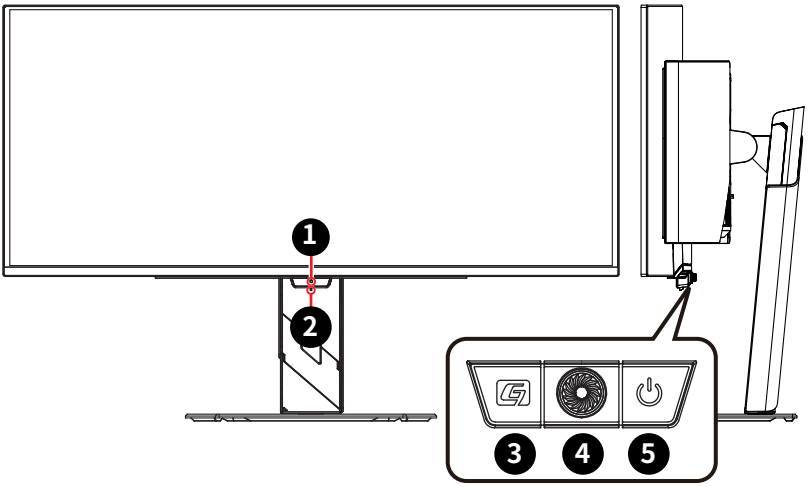








モニターの概要



1. AI光センサー

2. パワーLED

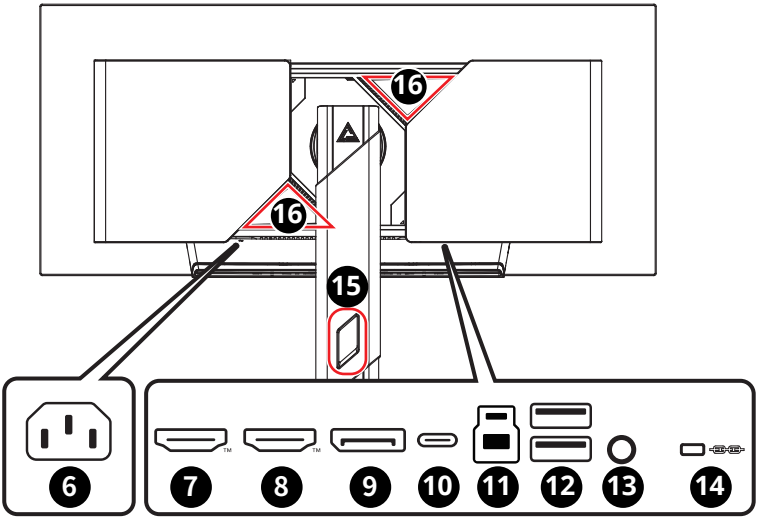
モニターの電源が入る場合、白色に点灯します。入力信号がない場合、オレンジに変わります。モニターがスタンバイモードの場合、オレンジに点灯します。

3. マクロキー

MSI Gaming Intelligenceアプリケーションを起動します。

4. Naviキー

5. 電源ボタン



6. 電源ジャック

7. HDMI™コネクタ

HDMI™ 2.1で指定のHDMI™ CEC、3440x1440@360Hzに対応します。

注意

最適なパフォーマンスと互換性を確保するために、このモニターを接続する際には、HDMI™公式ロゴマーク付きのHDMI™ケーブルのみを使用してください。詳細な情報についてはhttps://www.hdmi.org/resource/cablesからご参照ください。

8. HDMI™コネクタ

HDMI™ 2.1で指定の3440x1440@360Hzに対応します。

注意

最適なパフォーマンスと互換性を確保するために、このモニターを接続する際には、HDMI™公式ロゴマーク付きのHDMI™ケーブルのみを使用してください。詳細な情報についてはhttps://www.hdmi.org/resource/cablesからご参照ください。

9. DisplayPort

DisplayPort 2.1a (UHBR20)で指定の3440x1440@360Hzに対応します。

10. USB Type-Cポート

DisplayPort Alternate (DP Alt) Modeと最大20V/4.9A (98W)の電源供給をサポートします。

USB Type-C電源供給

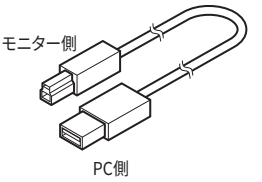
- 5V / 3A (15W)
- 9V / 3A (27W)
- 12V / 3A (36W)
- 15V / 3A (45W)
- 20V / 4.9A (98W)

注意

モニターに映像信号を表示するには、接続するUSB-C信号源とケーブルがDisplayPort Alternate Modeに対応している必要があります。

11. USB 5Gbps Type-Bアップストリームポート

USBアップストリームケーブル用。



注意

USBアップストリームケーブルのパッケージを確認し、PCとモニターに接続します。このケーブルが接続されると、モニターのUSB Type-Aダウンストリームポートが使用可能になります。

12. USB 5Gbps Type-Aポート

13. ヘッドフォンジャック

14. Kensingtonロック

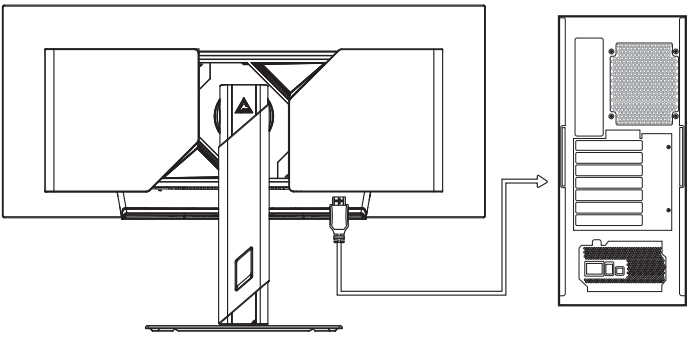
15. ケーブル配線穴

16. インフィニティ・ミラー

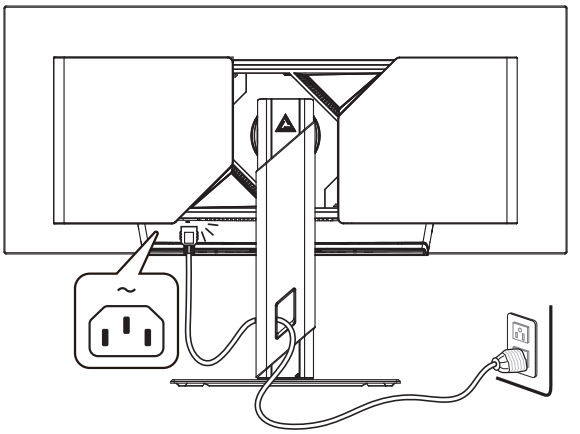
室温との温度差により、ガラス表面に一時的に結露が生じることがあります。これは正常な現象であり、数分以内に消えます。

モニターをPCに接続する

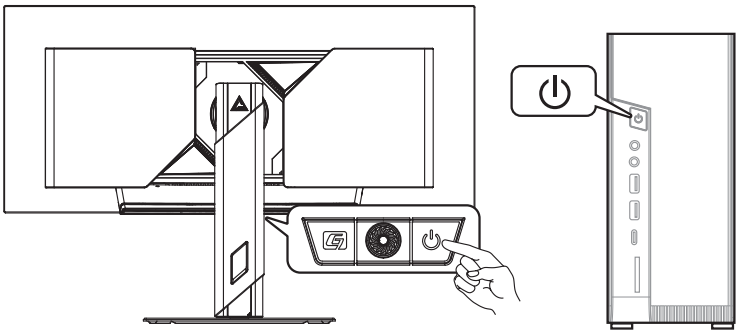
1. ビデオケーブルを使用して、モニターとコンピュータを接続します。



2. モニターの電源コードを接続します。



3. モニターとコンピュータの電源をオンにします。



OSD設定

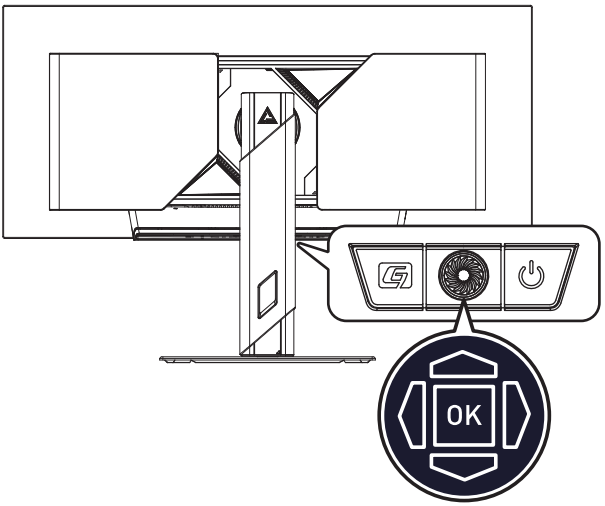
この章では、OSD設定に関する重要な情報を提供します。

注意

すべての情報は予告なしに変更される場合があります。

Naviキー

モニターには、OSDメニューをナビゲートするための多方向操作のNaviキーが配置されています。



上/下/左/右:

- 機能メニューと項目を選択します
- 機能値を調整します
- 機能メニューを入り/終了します

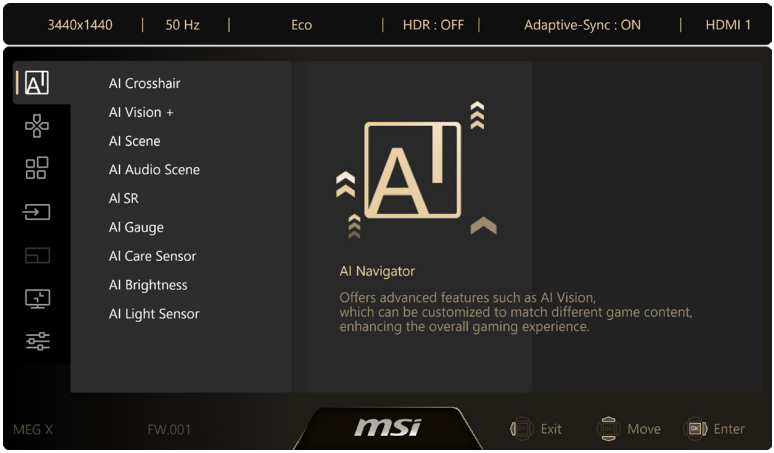
(OK)を押す:

- OSDを起動します
- サブメニューに入ります
- 選択または設定を確認します

ホットキー

- ユーザーは、OSDメニューが無効な場合、Naviキーを上、下、左または右に移動することで、プリセット機能メニューに入れます。
- ユーザーは、独自のホットキーをカスタマイズして異なる機能メニューに入ることができます。

OSDメニュー



注意

HDR信号を検知したとき、下記の設定はグレー表示になります。

- *Low Blue Light (低ブルーライト)*
- *Brightness (輝度)*
- *Contrast (コントラスト)*
- *Color Temperature (色温度)*
- *Optix Scope +*
- *PIP/PBP*
- *AI SR - Show On (AI SR - 表示日)*
- *AI SR - Size (AI SR - 大きさ)*
- *AI Light Sensor (AI光センサー)*
- *AI Brightness (AIの明るさ)*
- *Adaptive Dim (アダプティブ調光)*
- *Six-Axis Color (6軸カラー)*
- *Gamma (ガンマ)*
- *Saturation (彩度)*
- *sRGB, Adobe RGB, Display P3, Black-White Mode (sRGB、Adobe RGB、Display P3、白黒モード)*

AI Navigator (AIナビゲーター)

<table>
<tr><th>機能</th><th colspan="2">有効な設定</th><th>説明</th></tr>
<tr><td rowspan="12">AI Crosshair (AIクロスヘア)</td><td colspan="2">OFF (オフ)</td><td rowspan="12">• AIアルゴリズムにより、ゲーム内のクロスヘア表示の視認性を向上させます。
• クロスヘアの色、サイズと位置を選択することができます。</td></tr>
<tr><td colspan="2">ON (オン)</td></tr>
<tr><td>Icon (アイコン)</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="5">Icon Colors (アイコンの色)</td><td>Adaptive (アダプティヴ)</td></tr>
<tr><td>Customize (カスタマイズ)</td></tr>
<tr><td>R (0-255)</td></tr>
<tr><td>G (0-255)</td></tr>
<tr><td>B (0-255)</td></tr>
<tr><td rowspan="3">Icon Size (アイコンサイズ)</td><td>x0.5</td></tr>
<tr><td>x1.0</td></tr>
<tr><td>x1.5</td></tr>
<tr><td colspan="2">Position (位置)</td></tr>
<tr><td colspan="2">Position Reset (位置リセット)</td></tr>
<tr><td>AI Vision + (AIビジョン+)</td><td colspan="2">OFF (オフ)
Level 1 (レベル1)
Level 2 (レベル2)
Level 3 (レベル3)
Level 4 (レベル4)
Level 5 (レベル5)</td><td>• AIビジョン+は、ハイライトのディテールを維持したまま、暗いシーンでの視認性を向上させます。
• AIビジョン+を有効にした場合の影響：
<table><tr><th>影響を受ける機能</th><th>機能の状態</th></tr><tr><td>» AIシーン
» AIゲージ
» AI SR</td><td>オフに設定</td></tr></table></td></tr>
<tr><td>AI Scene (AIシーン)</td><td colspan="2">OFF (オフ)
ON (オン)
AI Scene HUD (AIシーンHUD)</td><td>• AIシーンは、現在のシーンに最適な画像モードに自動的に切り替えます。
• AIシーンを有効にした場合の影響：
<table><tr><th>影響を受ける機能</th><th>機能の状態</th></tr><tr><td>» AIビジョン+
» AIゲージ
» AI SR</td><td>オフに設定</td></tr></table></td></tr>
</table>

<table>
<tr><th>機能</th><th colspan="2">有効な設定</th><th>説明</th></tr>
<tr><td>AI Audio Scene (AIオーディオシーン)</td><td colspan="2">OFF (オフ)</td><td rowspan="2">• AIオーディオシーンは、現在のモードに基づいてオーディオのEQを自動的に調整します。</td></tr>
<tr><td colspan="2">ON (オン)</td></tr>
<tr><td rowspan="11">AI SR</td><td colspan="2">OFF (オフ)</td><td rowspan="11">• AI Super Resolution (AI SR)は、解像度をアップスケーリングして、鮮明度と明瞭さを改善します。
• 大きさがフルスクリーンに設定されている場合、「表示日」オプションが無効になります。
• AI SRを有効にした場合の影響：
<table><tr><th>影響を受ける機能</th><th>機能の状態</th></tr><tr><td>» イメージ拡張</td><td>オフに設定 & 選択不可</td></tr><tr><td>» AIビジョン+
» AIシーン
» AIゲージ</td><td>オフに設定</td></tr></table></td></tr>
<tr><td colspan="2">ON (オン)</td></tr>
<tr><td rowspan="4">Size (大きさ)</td><td>Small (小)</td></tr>
<tr><td>Medium (中)</td></tr>
<tr><td>Large (大)</td></tr>
<tr><td>Full Screen (フルスクリーン)</td></tr>
<tr><td rowspan="5">Show On (表示日)</td><td>Left Top (左上)</td></tr>
<tr><td>Right Top (右上)</td></tr>
<tr><td>Left Bottom (左下)</td></tr>
<tr><td>Right Bottom (右下)</td></tr>
<tr><td>Customize (カスタマイズ)</td></tr>
<tr><td rowspan="13">AI Gauge (AIゲージ)</td><td colspan="2">OFF (オフ)</td><td rowspan="13">• AIゲージは、ゲーム内の画面上に表示されるステータスバー（HPバーなど）を検出し、その状態をMSIスペクトラムバー+のフロントLEDに表示することで、一目で確認できるようにします。
• AIゲージを使用するには、スペクトラムバー+をMSI – グローシンク+に設定してください。
• AIゲージを有効にした場合の影響：
<table><tr><th>影響を受ける機能</th><th>機能の状態</th></tr><tr><td>» スペクトラムバー+ - エコービジョン
» スペクトラムバー+ - Mystic Light</td><td>選択不可</td></tr><tr><td>» AI SR
» AIビジョン+
» AIシーン</td><td>オフに設定</td></tr></table></td></tr>
<tr><td colspan="2">ON (オン)</td></tr>
<tr><td rowspan="9">Gauge Range (ゲージ範囲)</td><td>Left Top (左上)</td></tr>
<tr><td>Right Top (右上)</td></tr>
<tr><td>Left Bottom (左下)</td></tr>
<tr><td>Right Bottom (右下)</td></tr>
<tr><td>Center Top (センタートップ)</td></tr>
<tr><td>Center Bottom (中央下部)</td></tr>
<tr><td>Cust. Range (カスタマイズ範囲)</td></tr>
<tr><td>Range Reset (範囲リセット)</td></tr>
<tr><td rowspan="2">Gauge Position (ゲージの位置)</td><td>Adjust (調整)</td></tr>
<tr><td>Position Reset (位置リセット)</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th>機能</th><th colspan="2">有効な設定</th><th>説明</th></tr>
<tr><td rowspan="13">AI Care Sensor (AIケアセンサー)</td><td colspan="2">OFF (オフ)</td><td rowspan="2">• この機能は、AIを活用した人の検知機能を有効にします。</td></tr>
<tr><td colspan="2">ON (オン)</td></tr>
<tr><td rowspan="2">Active Mode (アクティブモード)</td><td>System Mode (システムモード)</td><td rowspan="2">• システムモードに設定すると、ウェイク・オン・アプローチ、ロックオンリーブ、およびアダプティブ調光機能はMicrosoft Windows®オペレーティングシステムによって制御されます。
• モニターモードに設定すると、ウェイク・オン・アプローチ、ロックオンリーブ、およびアダプティブ調光機能はモニターのOSDメニューによって制御されます。</td></tr>
<tr><td>Monitor Mode (モニターモード)</td></tr>
<tr><td rowspan="3">Wake on Approach (ウェイク・オン・アプローチ)</td><td>OFF (オフ)</td><td rowspan="2">• アクティブモードをシステムモードに設定すると、ウェイク・オン・アプローチ (Wake on Approach) はグレー表示になります。
• ウェイク・オン・アプローチがオンに設定されている場合、モニターは近くのユーザーを検出すると自動的に復帰します。</td></tr>
<tr><td>ON (オン)</td></tr>
<tr><td>Timer Setting (タイマー設定)
0-30</td><td>• ユーザーは0秒から30秒の範囲でタイマーを設定できます。
• 0秒設定時は即時アクティベーションとなります。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">Lock on Leave (ロックオンリーブ)</td><td>OFF (オフ)</td><td rowspan="2">• アクティブモードをシステムモードに設定すると、ロックオンリーブ (Lock on Leave) はグレー表示になります。
• ロックオンリーブがオンに設定されている場合、モニターはユーザーの離席を検知すると自動的にロックします。</td></tr>
<tr><td>ON (オン)</td></tr>
<tr><td>Timer Setting (タイマー設定)
10-120</td><td>• ユーザーは10秒から120秒の範囲でタイマーを設定できます。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">Adaptive Dim (アダプティブ調光)</td><td>OFF (オフ)</td><td rowspan="2">• アクティブモードをシステムモードに設定すると、アダプティブ調光はグレー表示になります。
• アダプティブ調光がオンに設定されている場合、モニターはユーザーが画面から目を離したことを検知すると、自動的に画面を暗くします。
• アダプティブ調光を有効にした場合の影響:
<table><tr><th>影響を受ける機能</th><th>機能の状態</th></tr><tr><td>» AIの明るさ</td><td>オフに設定</td></tr></table></td></tr>
<tr><td>ON (オン)</td></tr>
<tr><td rowspan="3">AI Brightness (AIの明るさ)</td><td colspan="2">OFF (オフ)</td><td rowspan="3">• 内部光センサーとAI (Artificial Intelligence)アルゴリズムにより、周囲の光を検出し、自動的にモニターの輝度を調整し、最適な表示にします。
• カスタマイズは、ユーザーが自動輝度カーブを調整することができます。
• AIの明るさを有効にした場合の影響:
<table><tr><th>影響を受ける機能</th><th>機能の状態</th></tr><tr><td>» 輝度</td><td>選択不可</td></tr><tr><td>» アダプティブ調光</td><td>オフに設定</td></tr></table></td></tr>
<tr><td colspan="2">Auto (自動)</td></tr>
<tr><td>Customize (カスタマイズ)</td><td>0-100</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th>機能</th><th>有効な設定</th><th>説明</th></tr>
<tr><td>AI Light Sensor (AI光センサー)</td><td>OFF (オフ)
ON (オン)</td><td>• 内部RGBセンサーとAIアルゴリズムにより、周囲の色温度を検出し、環境と同期した最適な照明効果を示します。
• AI光センサーを有効にした場合の影響：<table><tr><th>影響を受ける機能</th><th>機能の状態</th></tr><tr><td>» 低ブルーライト
» コントラスト
» 色温度
» sRGB, Adobe RGB, Display P3モード</td><td>選択不可</td></tr></table></td></tr>
</table>

Gaming Features (ゲーム機能)

<table>
<tr><th>機能</th><th colspan="2">有効な設定</th><th>説明</th></tr>
<tr><td>KVM</td><td rowspan="4">Type B</td><td>HDMI™ 1</td><td rowspan="9">• KVM機能により、モニターのUSBポートに接続した1組のキーボードとマウスで、ゲーミングPC、ノートPC、またはコンソールなど複数のデバイスを制御できます。
• USB制御パスは、一度にType BかType Cのどちらか一方のみ選択可能です。</td></tr>
<tr><td>HDMI™ 2</td></tr>
<tr><td>DP</td></tr>
<tr><td>Type C</td></tr>
<tr><td rowspan="4">Type C</td><td>HDMI™ 1</td></tr>
<tr><td>HDMI™ 2</td></tr>
<tr><td>DP</td></tr>
<tr><td>Type C</td></tr>
<tr><td>SLMB</td><td colspan="2">OFF (オフ)
ON (オン)</td><td>• SLMBは3440x1440解像度、かつ240Hz/360Hzのリフレッシュレート時のみ利用可能です。
• SLMBを有効にした場合の影響：<table><tr><th>影響を受ける機能</th><th>機能の状態</th></tr><tr><td>» Adaptive-Sync</td><td>オフに設定</td></tr></table></td></tr>
<tr><td>Optix Scope +</td><td colspan="2">OFF (オフ)
ON (オン)</td><td rowspan="2">• Optix Scope +を有効にすると、中心点がズームされます。
• AIクロスヘアとOptix Scope +を同時に有効にすることはできます。
• Optix Scope +を有効にした場合+の影響：<table><tr><th>影響を受ける機能</th><th>機能の状態</th></tr><tr><td>» Adaptive-Sync
» PIP/PBP</td><td>オフに設定</td></tr><tr><td>» AI SR
» AIビジョン+</td><td>選択不可</td></tr></table></td></tr>
<tr><td></td><td>Scope Style (スコープスタイル)</td><td>Square (スクエア)
Circle (サークル)</td></tr>
<tr><td></td><td>Scope Vision (スコープビジョン)</td><td>Night Mode (ナイトモード)
Regular Mode (レギュラーモード)</td><td></td></tr>
<tr><td></td><td>Scope Focusing (スコープフォーカス)</td><td>OFF (オフ)
ON (オン)</td><td></td></tr>
<tr><td></td><td>Scope Ratio (スコープ比率)</td><td>x1.5
x2.0
x2.5
x3.0</td><td></td></tr>
</table>

<table>
<tr><th>機能</th><th>有効な設定</th><th>説明</th></tr>
<tr><td>SDR Brightness (SDRの輝度)</td><td>Dynamic (動的)
Uniform (均一)</td><td>• ユーザーは標準ダイナミックレンジ(SDR)コンテンツ用の輝度カーブを切り替えることができます。
• 動的: APL (Average Picture Level)に応じて輝度が変化します。
• 均一: APLに関わらず輝度が一定に維持されます。</td></tr>
<tr><td>Corner Uniformity (コーナーの均一性)</td><td>Level 1 (レベル1)
Level 2 (レベル2)
Level 3 (レベル3)
Level 4 (レベル4)</td><td>• コーナーの均一性とは、画面中央から四隅までの輝度の均一性を指します。</td></tr>
<tr><td>OLED Anti-Flicker PRO (OLEDアンチフリッカーPRO)</td><td>OFF (オフ)
Level 1 (レベル1)
Level 2 (レベル2)
Level 3 (レベル3)</td><td>• OLEDアンチフリッカーPRO機能は、定義された範囲内でリフレッシュレートを安定させることで、ちらつきを抑え、より滑らかな映像表示を実現します。
• Adaptive-Syncがオフの場合、この機能が無効になります。</td></tr>
<tr><td>DisplayHDR</td><td>True Black 500
Peak 1300 nits (ピーク1300ニット)
EOTF Boost (EOTFブースト)
Uniform HDR (均一HDR)
Cust. (True Black 500)
Cust. (Peak 1300)
HDR Brightness (HDRの輝度)</td><td>• DisplayHDR機能は、明るさとコントラストを最適化するためのカスタマイズ可能な設定で、映像体験を向上させます。
• EOTFブーストを選択した場合の影響:
<table><tr><th>影響を受ける機能</th><th>機能の状態</th></tr><tr><td>» AIビジョン+</td><td>選択不可</td></tr></table></td></tr>
<tr><td>DSC</td><td>OFF (オフ)
ON (オン)</td><td>• DSC (Display Stream Compression) 機能のオン/オフに切り替えることができます。
• DSC機能の詳細については、DSCオン/オフタイミング表のプリセットディスプレイモードを確認してください。
• DSCを有効にした場合の影響:
<table><tr><th>影響を受ける機能</th><th>機能の状態</th></tr><tr><td>» PIP/PBP</td><td>選択不可</td></tr></table></td></tr>
<tr><td>HDMI™ 2.1</td><td>PC
Console</td><td>• DP/USB-C入力を検知すると、HDMI™ 2.1が無効になります。
• コンソールモードは、より多くのコンソールデバイスとの互換性を提供します。</td></tr>
<tr><td>Adaptive-Sync</td><td>OFF (オフ)
ON (オン)</td><td>• Adaptive-Syncは、画面のティアリングを防ぎます。
• Adaptive-Syncを有効にした場合の影響:
<table><tr><th>影響を受ける機能</th><th>機能の状態</th></tr><tr><td>» SLMB
» Optix Scope +
» PIP/PBP</td><td>オフに設定</td></tr><tr><td>» 画面サイズ1:1</td><td>自動に設定</td></tr></table></td></tr>
</table>

<table>
<tr><th>機能</th><th colspan="2">有効な設定</th><th>説明</th></tr>
<tr><td rowspan="11">Timer (タイマー)</td><td colspan="2">OFF (オフ)</td><td rowspan="11">• 時間を設定したら、OKボタンを押してタイマーを起動します。
• 電源を切ったりコンセントにつなぎ直した後は再設定が必要です。</td></tr>
<tr><td colspan="2">ON (オン)</td></tr>
<tr><td rowspan="4">Time Adjust (タイムアジャスト)</td><td>15:00</td></tr>
<tr><td>30:00</td></tr>
<tr><td>45:00</td></tr>
<tr><td>60:00</td></tr>
<tr><td rowspan="5">Show On (表示日)</td><td>Left Top (左上)</td></tr>
<tr><td>Right Top (右上)</td></tr>
<tr><td>Left Bottom (左下)</td></tr>
<tr><td>Right Bottom (右下)</td></tr>
<tr><td>Customize (カスタマイズ)</td></tr>
<tr><td rowspan="8">Refresh Rate (リフレッシュレート)</td><td colspan="2">OFF (オフ)</td><td rowspan="8">• OSDメニューで位置を調整できます。OKボタンを押して、リフレッシュレートの場所を確定して適用します。
• このモニターは、オペレーティングシステムのプリセット画面リフレッシュレートに従って動作します。</td></tr>
<tr><td colspan="2">ON (オン)</td></tr>
<tr><td rowspan="6">Show On (表示日)</td><td>Left Top (左上)</td></tr>
<tr><td>Right Top (右上)</td></tr>
<tr><td>Left Bottom (左下)</td></tr>
<tr><td>Right Bottom (右下)</td></tr>
<tr><td>Customize (カスタマイズ)</td></tr>
<tr><td rowspan="5">Screen Size (画面サイズ)</td><td colspan="2">Auto (自動)</td><td rowspan="5">• ユーザーは、どのモード、解像度、画面リフレッシュレートでも画面サイズを調整できます。
• 画面サイズ1:1を有効にした場合の影響：
<table><tr><th>影響を受ける機能</th><th>機能の状態</th></tr><tr><td>» Adaptive-Sync
» PIP/PBP
» Optix Scope +</td><td>オフに設定</td></tr></table>
注意
画面サイズ1:1とは、映像が元の解像度で表示されるという意味です。モニターがネイティブ解像度に設定されている場合、この設定項目は無効になります。</td></tr>
<tr><td colspan="2">4:3 (Forced) (4:3 (強制))</td></tr>
<tr><td colspan="2">16:9 (Forced) (16:9 (強制))</td></tr>
<tr><td colspan="2">21:9 (Forced) (21:9 (強制))</td></tr>
<tr><td colspan="2">1:1 (by pixel) (1:1 (ピクセル単位))</td></tr>
</table>

Mode (モード)

モード	
» Eco (エコ)	» RPG
» User (ユーザー)	» ARPG
» Premium Color (プレミアムカラー)	» BRG
» FPS	» Black-White (白黒)
» Racing (レーシング)	» sRGB
» RTS	» Adobe RGB
» MOBA	» Display P3

- 上または下ボタンを使用して、モード効果を選択してプレビューします。
- OKボタンを押して、モードの種類を確定して適用します。
- デフォルトモード「エコ」はTUV Rheinland'sの「低ブルーライト」標準の要件に満たします。
- FPSを有効にした場合の影響:

影響を受ける機能	機能の状態
» 彩度	選択不可

- 白黒を有効にした場合の影響:

影響を受ける機能	機能の状態
» 彩度 » 6軸カラー	選択不可

- sRGB、Adobe RGB、Display P3を有効にした場合の影響:

影響を受ける機能	機能の状態
» AIの明るさ » AI光センサー	オフに設定 & 選択不可
» コントラスト » 彩度 » 6軸カラー	選択不可

機能	有効な設定	説明
Brightness (輝度)	0-100	• 周囲の照明状況に応じて輝度を正しく調整します。
Contrast (コントラスト)	0-100	• コントラストを正しく調整して目の疲労を軽減します。
Sharpness (鮮明度)	0-5	• 鮮明度は、画像の明瞭さと細部を改善します。
Image Enhancement (イメージ拡張)	OFF (オフ)	• イメージ拡張は、画像のエッジを強調してアキュータンスを改善します。
	Level 1 (レベル1)	
	Level 2 (レベル2)	
	Level 3 (レベル3)	
	Level 4 (レベル4)	
	Level 5 (レベル5)	

機能	有効な設定	説明
Color Temperature (色温度)	5000K	• この機能はディスプレイ全体の色調を調整します。 • ユーザーは、カスタマイズモードで色温度を調整し、正確な色校正を行うことができます。
	6500K	
	7500K	
	9300K	
	10000K	
	Customize (カスタマイズ)	
	R (0-100)	
	G (0-100)	
	B (0-100)	
Low Blue Light (低ブルーライト)	OFF (オフ)	• 低ブルーライトは、青色光から目を保護します。有効な場合、低ブルーライトは画面の色温度をより黄色に調整します。 • このモニターは低ブルーライトモニターであり、OSD設定を調整せずにブルーライトを減少することができます。
	ON (オン)	
Saturation (彩度)	0-100	• この設定は、ディスプレイの彩度を調整できます。
Six-Axis Color (6軸カラー)	R (0-100)	• この機能は、6つの原色と二次色の明度と彩度を個別に調整します。
	G (0-100)	
	B (0-100)	
	C (0-100)	
	M (0-100)	
	Y (0-100)	
Gamma (ガンマ)	Native (ネイティブ)	• この機能は、シャドウ部やハイライト部に影響を与えず、ディスプレイの中間調の明るさを調整します。 • ガンマ値を高くすると中間調は暗く、低くすると明るくなります。
	1.8	
	2.0	
	2.2	
	2.4	
	2.6	

Input Source (入力源)

機能	有効な設定	説明
HDMI™ 1		• ユーザーは好みの入力源を選択できます。
HDMI™ 2		
DP		
Type C		
Type C PD Charge (タイプC PD充電)	OFF (オフ)	• この機能は、USB Type-Cコネクタ経由でデバイスを充電することが可能です。
	ON (オン)	

Auto Scan (自動スキャン)	OFF (オフ)	• 下記の状態の時、接続コネクタに応じて入力の切り替えを行ってください。
		  • 自動スキャンがオフに設定され、モニターがスタンバイモードである時。
		  • 「信号なし」のメッセージが表示される時。

	ON (オン)	

PIP/PBP

<table>
<tr><th>機能</th><th colspan="2">有効な設定</th><th>説明</th></tr>
<tr><td rowspan="15">PIP</td><td colspan="2">OFF (オフ)</td><td rowspan="15">• 1つのモニターの端に小さな小窓を表示させ、複数の画面を同時に表示させる機能です。
• 1つのモニター画面の中に、2つの入力源を画面に並べて表示する機能です。
• ディスプレイスワップは、ユーザーがプライマリとセカンダリ入力源を切り替えることができます。
• 入力信号が1つのみある場合、ディスプレイスワップとオーディオスワップがグレー表示になります。
• PIP/PBPを有効にした場合の影響:
<table><tr><th>影響を受ける機能</th><th>機能の状態</th></tr><tr><td>» DisplayHDR
» DSC
» HDMI™ 2.1</td><td>選択不可</td></tr><tr><td>» AIビジョン+
» AIシーン
» AI SR
» AIゲージ</td><td>選択不可 & PIP/PBPが無効な場合、以前の設定に戻す</td></tr><tr><td>» Adaptive-Sync
» Optix Scope +</td><td>オフに設定</td></tr><tr><td>» HDMI™ CEC</td><td>オフに設定 &
選択不可</td></tr><tr><td>» PIP: 画面サイズ1:1
» PBP: 画面サイズ</td><td>自動に設定 &
選択不可</td></tr></table></td></tr>
<tr><td colspan="2">ON (オン)</td></tr>
<tr><td rowspan="4">Sub Input (サブインプット)</td><td>HDMI™ 1</td></tr>
<tr><td>HDMI™ 2</td></tr>
<tr><td>DP</td></tr>
<tr><td>Type C</td></tr>
<tr><td rowspan="3">Sub Size (サブサイズ)</td><td>Small (小)</td></tr>
<tr><td>Medium (中)</td></tr>
<tr><td>Large (大)</td></tr>
<tr><td rowspan="2">Sub Ratio (サブレシオ)</td><td>Auto (自動)</td></tr>
<tr><td>Full Screen (フルスクリーン)</td></tr>
<tr><td rowspan="5">Show On (表示日)</td><td>Left Top (左上)</td></tr>
<tr><td>Right Top (右上)</td></tr>
<tr><td>Left Bottom (左下)</td></tr>
<tr><td>Right Bottom (右下)</td></tr>
<tr><td>Customize (カスタマイズ)</td></tr>
<tr><td colspan="2">Display Swap (ディスプレイスワップ)</td></tr>
<tr><td colspan="2">Audio Swap (オーディオスワップ)</td></tr>
<tr><td rowspan="11">PBP</td><td colspan="2">OFF (オフ)</td></tr>
<tr><td colspan="2">ON (オン)</td></tr>
<tr><td rowspan="3">PBP Layout (PBPレイアウト)</td><td>1:1</td></tr>
<tr><td>3:1</td></tr>
<tr><td>Customize (カスタマイズ)</td></tr>
<tr><td rowspan="4">Sub Input (サブインプット)</td><td>HDMI™ 1</td></tr>
<tr><td>HDMI™ 2</td></tr>
<tr><td>DP</td></tr>
<tr><td>Type C</td></tr>
<tr><td colspan="2">Display Swap (ディスプレイスワップ)</td></tr>
<tr><td colspan="2">Audio Swap (オーディオスワップ)</td></tr>
</table>

MSI OLED Care

機能	有効な設定		説明
Pixel Shift (ピクセルシフト)	Slow (低速)		• ピクセルシフトは、画面の焼き付きや残像を防ぐため、表示画像を一定時間ごとに移動させて表示する機能です。
	Normal (通常)		
	Fast (高速)		
Panel Protect (パネル保護)			• パネルの画質を維持するため、モニター使用時間が4時間を超えると、自動的にパネル保護(短時間)機能が有効になります。 • この保護機能が完了するまでに数分かかる場合があります。 • プロセスが完了するまで、電源インジケータがオレンジ色に点滅します。 • プロセス実行中は、モニターから電源コードを抜かないでください。 • プロセスの実行中に電源ボタンをもう一度押すと、この機能がキャンセルされます。
Protect Notice (保護通知)	Auto (自動)		• 自動に設定すると、パネルの累積使用時間が4時間を超えた場合、保護通知が表示されます。 • 24時間以上の使用に設定すると、パネルの累積使用時間が24時間を超えた場合、保護通知が表示されます。 • パネル保護が中断されると、次回の起動時に、保護通知が表示されます。
	Usage 24 hrs (24時間以上の使用)		

Static Screen Detection (静止画面検出)	OFF (オフ)		• 静止画面検出をオンに設定すると:
			  • 長時間の静止画を検出すると、輝度を下げて画面の焼き付きを防ぎます。
			  • 画像の変化を検出すると、輝度を元の状態に戻します。

	ON (オン)		
	Starting at (以下で開始)	50秒	• 以下で開始は、静止画が画面に表示されたままの時間を検出します。
		100秒	
	Time required (所要時間)	120秒	• 所要時間は、静止画を50/100秒間検出してから輝度を下げるまでの時間を指定します。 • 輝度軽減レベルは、輝度軽減レベルの設定に依存します。
		240秒	
	Reducing Level (輝度軽減レベル)	1-7	• ユーザーは、輝度軽減レベルを選択できます。 • 軽減効果は輝度/DisplayHDRの設定に依存します。
Multi Logo Detection (マルチロゴ検出)	OFF (オフ)		• この機能は、画面の焼き付きを防ぎます。オンに設定すると、動画の中のロゴなどの静止画部分が検出された場合、その部分の明るさを調整する輝度軽減が有効になります。
	ON (オン)		
	Reducing Level (輝度軽減レベル)	1-4	• ユーザーは、輝度軽減レベルを選択できます。 • 軽減効果は輝度/DisplayHDRの設定に依存します。

機能	有効な設定		説明
Multi Icon Detection (マルチアイコン検出)	OFF (オフ)		• この機能は、画面の焼き付きを防ぎます。オンに設定すると、動画の中のアイコンなどの静止画部分が検出された場合、その部分の明るさを調整する輝度軽減が有効になります。
	ON (オン)		
	Reducing Level (輝度軽減レベル)	1-3	• ユーザーは、輝度軽減レベルを選択できます。 • 軽減効果は輝度/DisplayHDRの設定に依存します。
Taskbar Detection (タスクバーの検出)	OFF (オフ)		• この機能は、画面の焼き付きを防ぎます。オンに設定すると、タスクバーが検出された場合、タスクバーエリアの明るさを調整する輝度軽減が有効になります。
	ON (オン)		
	Reducing Level (輝度軽減レベル)	1-4	• ユーザーは、輝度軽減レベルを選択できます。 • 軽減効果は輝度/DisplayHDRの設定に依存します。
Boundary Detection (エッジ検出)	OFF (オフ)		• この機能は、画面の焼き付きを防ぎます。オンに設定すると、文字、柱などの境界が検出された場合、境界部分の明るさを調整する輝度軽減が有効になります。
	ON (オン)		
	Reducing Level (輝度軽減レベル)	1-4	• ユーザーは、輝度軽減レベルを選択できます。 • 軽減効果は輝度/DisplayHDRの設定に依存します。
V-Split Detection (Vスプリット検出)	OFF (オフ)		• この機能は、画面の焼き付きを防ぎます。この機能を有効に設定すると、マルチタスク時やウィンドウモードでのゲーム時に、縦線の境界部分の明るさを調整する輝度軽減が有効になります。
	ON (オン)		
	Reducing Level (輝度軽減レベル)	1-4	• ユーザーは、輝度軽減レベルを選択できます。 • 軽減効果は輝度/DisplayHDRの設定に依存します。
Auto DIM Control (自動調光制御)	OFF (オフ)		• この機能は、画面の焼き付きを防ぐために、徐々に画面を暗くします。「ON」に設定すると、静止画像を検出した際に画面全体の明るさを自動的に低下させる輝度軽減が有効になります。
	ON (オン)		
	Starting Speed (始動速度)	Slow (低速)	• この設定は、静止画を検出してから自動調光制御が作動するまでの反応時間を設定します。
		Fast (高速)	
	Reducing Speed (速度の低下)	Slow (低速)	• この設定は、輝度軽減の速度を設定します。
		Fast (高速)	
	Reducing Level (輝度軽減レベル)	1-6	• ユーザーは、輝度軽減レベルを選択できます。 • 軽減効果は輝度/DisplayHDRの設定に依存します。
OLED Panel Info. (OLEDパネル情報)			• このフィールドは、MSI OLED Careの情報を表示します。

General (全般)

機能	有効な設定		説明
Language (言語)	繁體中文		• ユーザーは、OKボタンを押して、言語設定を確定して適用する必要があります。 • 言語は独立した設定です。ユーザーの言語設定が工場出荷時デフォルト設定よりも優先されます。ユーザーがリセットをはいに設定しても、言語は変更されません。
	English		
	Français		
	Deutsch		
	Italiano		
	Español		
	한국어		
	日本語		
	Русский		
	Português		
	简体中文		
	Bahasa Indonesia		
	Türkçe		
	(その他の言語にも対応予定です)		
Power LED (パワーLED)	OFF (オフ)		• パワーLEDのオン/オフを切り替えることができます。 • パネル保護の実行中は、プロセスが完了するまで、パワーLEDインジケータがオレンジ色に点滅します。
	ON (オン)		
Audio (オーディオ)	Volume (音量)	0-100	• ユーザーは、どのモードでもオーディオ音量を調整できます。
	Mute (ミュート)		
SpectrumBar + (スペクトラムバー+)	OFF (オフ)		• RGB LEDとその輝度を調整できます。
	Glow Sync + (グローシンク+)		
	Echo Vision (エコービジョン)		
	Mystic Light		
	RGB Brightness (RGB輝度)	20%	
		40%	
		60%	
		80%	
		100%	
OSD Menu (OSDメニュー)	OSD Position (OSDの位置)	Adjust (調整)	• この機能は、OSDメニューの画面表示位置を調整し、ユーザーが使いやすく設定できます。
		Position Reset (位置リセット)	
	OSD Transparency (OSDの透明性)	0-5	• ユーザーは、どのモードでもOSDの透明性を調整できます。
	OSD Time Out (OSDタイムアウト)	5-30	• ユーザーは、どのモードでもOSDタイムアウトを調整できます。
Ultra Low Power (超低消費電力)	OFF (オフ)		• この設定は電力消費を抑え、エネルギー効率を向上させます。
	ON (オン)		

機能	有効な設定		説明

HDMI™ CEC	OFF (オフ)		• HDMI™ CEC(Consumer Electronics Control)は、Sony PlayStation®、Nintendo®Switch™、Xbox Series X|SコンソールなどのCEC対応機器とHDMI™ケーブルで接続することにより相互連動動作が可能になります。
			※すべての動作を保証するものではありません。
			※接続機器によっては意図しない動作をする場合があります。そのような場合はHDMI™ CECをOFFにしてください。
			• HDMI™ CECをオンに設定すると:
			  • CECデバイスの電源を入れる場合、モニターは自動的にオンになります。
			  • モニターがオフの場合、CECデバイスは省電力モードに入ります。
			  • Sony PlayStation®、Nintendo® Switch™、またはXbox Series X|Sコンソールを接続すると、モードが自動的にデフォルトモードに設定されますが、後で好みのモードに調整が可能です。

	ON (オン)		
Navi Key (Naviキー)	Up (上) Down (下) Left (左) Right (右)	OFF (オフ)	• 全Naviキー項目は、OSDメニューで調整できます。
		Brightness (輝度)	
		Mode (モード)	
		Input Source (入力源)	
		AI Crosshair (AIクロスヘア)	
		AI Vision + (AIビジョン+)	
		Timer (タイマー)	
		Refresh Rate (リフレッシュレート)	
		PIP/PBP	
		Optix Scope +	
		AI Scene (AIシーン)	
		Info. On Screen (画面上の情報)	
		Audio Volume (オーディオ音量)	
		SpectrumBar + (スペクトラムバー+)	
		Screen Size (画面サイズ)	
		DisplayHDR	
Info. On Screen (画面上の情報)	OFF (オフ)		• モニターステータスの情報は、画面の右側に表示されます。
	ON (オン)		
Service Info. (サービス情報)	FW Version (FWバージョン)		• この設定で、ファームウェアバージョンやシリアル番号などの製品サービス詳細を確認できます。
	Serial Number (シリアル番号)		
Reset All (すべてリセット)	YES (はい)		• ユーザーは、どのモードでも工場出荷時の設定にリセットして復元しすることができます。
	NO (いいえ)		

仕様

デバイスの技術仕様の一部は、メーカーにより変更される場合があります。詳細は販売店またはメーカーの担当者にご確認ください。

モニター	MEG X
サイズ	34インチ
曲率	カーブ1800R
パネルタイプ	QD-OLED
解像度	3440x1440 (UWQHD)
アスペクト比	21:9
輝度	• 標準SDR: 300cd/m2 • ピークHDR: 1300cd/m2
コントラスト比	1500000 : 1
リフレッシュレート (最大)	360Hz
応答時間	GTG: 0.03 ms (最小)
I/O	• 1 x ヘッドフォンジャック • 1 x DisplayPort • 2 x HDMI™コネクタ • 1 x USB Type-Cポート • 1 x USB 5Gbps Type-Bアップストリームポート • 2 x USB 5Gbps Type-Aポート
視野角	178°(水平)、178°(垂直)
DCI-P3* / sRGB	99% / 136%
表面処理	アンチリフレクション
表示色	10億7000万、10ビット
モニター電源オプション	100-240V~, 50/60Hz, 最大3.7A
消費電力 (標準)	• 電源オン < 270W • スタンバイ < 0.5W • 電源オフ < 0.3W
調整 (高さ)	0 ~ 110mm
調整 (チルト)	-5° ~ 15°
調整 (スイベル)	-30° ~ 30°
調整 (ピボット)	-10° ~ 10°

モニター		MEG X
Kensingtonロック		はい

VESA取り付け		• プレートの種類：100 x 100 mm
		• ネジの種類：M4 x 10 mm
		  • ネジ径：4 mm
		  • ネジピッチ：0.7 mm
		  • ネジ長：10 mm

寸法 (幅 x 高さ x 奥行)		811.7 x 548 x 237.4 mm
重量	正味重量	10 kg
	総重量	12.5 kg
動作環境		• 温度：0 ~ 40°C • 湿度：20% ~ 90% (結露なし) • 高度：0 ~ 5000m
ストレージ環境		• 温度：-20 ~ 60°C • 湿度：10% ~ 90% (結露なし)

* CIE1976の試験規格に基づきます。

プリセットディスプレイモード

注意

- *すべての情報は予告なしに変更される場合があります。*
- *HDMI™ VRR (可変リフレッシュレート) はAdaptive-Sync (オン/オフ) と同期します。VRRのオン/オフ状態は、Adaptive-Syncを確認してください。*
- *モニターの性能を最大限に発揮するには、必ずDSC (Display Stream Compression) 対応のグラフィックスカードを使用してください。*

HDMI™ 2.1 - PC、DSCオン、OLEDアンチフリッカーPRO

標準	解像度		HDMI™	DP	USB-C
QHD	2560x1440	@60Hz	V	V	V
		@120Hz	V	V	V
		@240Hz	V	V	V
		@360Hz	V	V	V
QHD +	3440x1440	@50Hz	V		
		@60Hz	V	V	V
		@120Hz	V	V	V
		@240Hz	V	V	V
		@360Hz	V	V	V
ビデオタイミング解像度	720P		V	V	V
	1080P	@60Hz	V	V	V
		@120Hz	V	V	V
	2560x1080P	@60Hz	V	V	V
		@120Hz	V	V	V
	HDMI™ VRR		V		
	OLEDアンチフリッカーPRO ブロック0、ブロック1 AMD VSDB範囲	オフ	48-360Hz		
		レベル1	60-360Hz		
		レベル2	100-360Hz		
		レベル3	120-360Hz		

HDMI™ 2.1 - PC、DSCオフ、OLEDアンチフリッカーPRO

標準	解像度		HDMI™	DP	USB-C
QHD	2560x1440	@60Hz	V	V	V
		@120Hz	V	V	V
		@240Hz	V	V	V
QHD +	3440x1440	@50Hz	V		
		@60Hz	V	V	V
		@120Hz	V	V	V
		@240Hz	V	V	V
		@360Hz		V	V
ビデオタイミング解像度	720P		V	V	V
	1080P	@60Hz	V	V	V
		@120Hz	V	V	V
	2560x1080P	@60Hz	V	V	V
		@120Hz	V	V	V
	HDMI™ VRR		V		
	OLEDアンチフリッカーPRO ブロック0、ブロック1 AMD VSDB範囲	オフ	48-240Hz	48-360Hz	
		レベル1	60-240Hz	60-360Hz	
		レベル2	100-240Hz	100-360Hz	
		レベル3	120-240Hz	120-360Hz	

HDMI™ 2.1 - Console、DSCオン、OLEDアンチフリッカーPRO

標準	解像度		HDMI™	DP	USB-C
QHD	2560x1440	@60Hz	V	V	V
		@120Hz	V	V	V
		@240Hz	V	V	V
		@360Hz	V	V	V
QHD +	3440x1440	@50Hz	V		
		@60Hz	V	V	V
		@120Hz	V	V	V
		@240Hz	V	V	V
		@360Hz	V	V	V
ビデオタイミング解像度	720P		V	V	V
	1080P	@60Hz	V	V	V
		@120Hz	V	V	V
	2160P	@30Hz	V		
		@60Hz	V		
		@120Hz	V		
	2560x1080P	@60Hz	V	V	V
		@120Hz	V	V	V
	HDMI™ VRR		V		
	OLEDアンチフリッカーPRO ブロック0、ブロック1 AMD VSDB範囲	オフ	48-360Hz		
		レベル1	60-360Hz		
		レベル2	100-360Hz		
		レベル3	120-360Hz		

HDMI™ 2.1 - Console、DSCオフ、OLEDアンチフリッカーPRO

標準	解像度		HDMI™	DP	USB-C
QHD	2560x1440	@60Hz	V	V	V
		@120Hz	V	V	V
		@240Hz	V	V	V
QHD +	3440x1440	@50Hz	V		
		@60Hz	V	V	V
		@120Hz	V	V	V
		@240Hz	V	V	V
		@360Hz		V	V
ビデオタイミング解像度	720P		V	V	V
	1080P	@60Hz	V	V	V
		@120Hz	V	V	V
	2160P	@30Hz	V		
		@60Hz	V		
		@120Hz	V		
	2560x1080P	@60Hz	V	V	V
		@120Hz	V	V	V
	HDMI™ VRR		V		
	OLEDアンチフリッカーPRO ブロック0、ブロック1 AMD VSDB範囲	オフ	48-240Hz	48-360Hz	
		レベル1	60-240Hz	60-360Hz	
		レベル2	100-240Hz	100-360Hz	
		レベル3	120-240Hz	120-360Hz	

PIPモード (HDR非対応)

標準	解像度		HDMI™	DP	USB-C
QHD	2560x1440	@60Hz	V	V	V
		@120Hz	V	V	V
QHD +	3440x1440	@50Hz	V		
		@60Hz	V	V	V
		@120Hz	V	V	V
ビデオタイミング解像度	720P		V	V	V
	1080P	@60Hz	V	V	V
		@120Hz	V	V	V
	2160P	@30Hz	V	V	
		@50Hz	V	V	
		@60Hz	V	V	

PBPモード (HDR非対応)

標準	解像度		HDMI™	DP	USB-C
ビデオタイミング解像度	720P		V	V	V
PBP 1:1/カスタマイズ	1720x1440	@60Hz	V	V	V
PBP 3:1	880x1440	@60Hz	V	V	V
	2560x1440	@60Hz	V	V	V

トラブルシューティング

電源LEDが消灯しています。

- モニターの電源ボタンをもう一度押します。
- モニターの電源コードが正しく接続されているかどうかを確認してください。

画像が表示されません。

- コンピュータグラフィックスカードが正しくインストールされているかどうかを確認してください。
- コンピュータとモニターが電源コンセントに接続され、電源が入っていることを確認してください。
- モニターの信号ケーブルが正しく接続されているかどうかを確認してください。
- コンピュータがスタンバイモードになっている可能性があります。いずれかのキーを押して、モニターをアクティブにします。

画面イメージのサイズが正しくないか、または中央に配置されていません。

- モニターを表示するのに適した設定にコンピュータを設定するには、「プリセットディスプレイモード」を参照してください。

プラグアンドプレイが機能しません。

- モニターの電源コードが正しく接続されているかどうかを確認してください。
- モニターの信号ケーブルが正しく接続されているかどうかを確認してください。
- コンピュータとグラフィックスカードがプラグアンドプレイ互換であることを確認してください。

アイコン、フォント、または画面が曖昧である、ぼやけている、または色の問題があります。

- ビデオ延長ケーブルを使用しないでください。
- 輝度とコントラストを調整してください。
- RGBカラーを調整するか、色温度を調整してください。
- モニターの信号ケーブルが正しく接続されているかどうかを確認してください。
- 信号ケーブルコネクタのピンが曲がっていないか確認してください。

モニターがちらつきを開始する、または、波が表示されます。

- リフレッシュレートをモニターの能力に合わせて変更してください。
- グラフィックスカードドライバをアップデートしてください。
- 電磁妨害(EMI)を引き起こす可能性のある電気機器の近くにモニターを置かないでください。

安全に関する注意事項

- 安全に関する注意事項をよくお読みください。
- 機器に貼付されているすべての注意と警告またはユーザーガイドを遵守します。
- 資格のある人にのみサービスを依頼してください。

電源

- 機器をコンセントに接続する前に、電圧が安全範囲であること、また100～240Vの電圧範囲に正しく調整されていることを確認してください。
- 電源コードが3ピンプラグの場合、アースピンも接続してください。本機器は接地された電源コンセントに接続する必要があります。
- 設置場所の配電システムが下記の仕様であることを確認してください。
  - 定格120 / 240V、20A（最大）のサーキットブレーカー
- 機器を長期間使用しない場合は、不要な電力を消費させないようコンセントからプラグを抜いてください。
- 人に踏まれるような場所には設置しない。電源コードの上に物を置かないでください。
- アダプターが付属している場合、MSI純正以外のACアダプタは使用しないでください。

環境

- 本機器の通気口は通風および過熱から機器を保護するために使用されます。通気口を塞がないでください。
- 本機器を不安定な場所や柔らかい物の上に設置しないでください。
- 機器が転倒するのを防ぐために、安定した平らな場所に設置し転倒防止用ワイヤーなどで固定してください。
- 火災や感電の危険を避けるため、本機器を湿度や高温に近づけないでください。
- 本機器を保管温度60°Cを超える、または、-20°Cを下回る無調整環境に放置しないでください。機器が損傷する恐れがあります。
- 最大動作温度は約40°Cです。
- 機器を清掃するときは、必ず電源プラグを抜いてください。機器を清掃するには、工業用化学物質ではなく柔らかい布を使用してください。液体を開口部に注ぎ込むと機器が破損したり感電することがあるため、開口部から液体を注ぎ込まないでください。
- 強い磁気を持つものまたは電気的なものを必ず機器から遠ざけてください。
- 次のような場合は、サービス担当者に機器の点検を依頼してください。
  - 電源コードまたはプラグが破損した場合。
  - 機器内に液体が入った場合。
  - 機器が湿気にさらされた場合。
  - ユーザーガイドに従って操作しても、機器が正常に作動しない、または起動しない場合。
  - 機器が落ちて破損した場合。
  - 機器に目に見える破損がある場合。

TÜV Rheinland認定

TÜV Rheinland低ブルーライト認定



ブルーライトは眼精疲労やドライアイの原因となると言われています。MSIのモニターはTÜV Rheinland認定を取得しており長時間の使用でも安心してご使用できます。

目への負担を正しく軽減できるよう下記の項目に従ってください。

- 目から50～70センチメートル、水平視点よりやや低い位置に画面がくるようにモニターを設置します。
- 時々意識的にまばたきをすることで、長時間使用による眼精疲労の軽減が期待できます。
- 2時間ごとに20分間休憩します。
- 休憩中は画面から目をそらし、遠くの景色を20秒間程みるようにします。
- 休憩中は軽いストレッチを行い身体のコリをほぐします。

TÜV Rheinlandフリッカフリー認定

- TÜV Rheinlandによりモニターが肉眼で認識が可能、不可能を問わない画面のチラつき(フリッカー)が発生するかテストを行いました。
- TÜV Rheinlandは、様々な周波数範囲の最低規格を定めたテスト項目を作成しました。このテスト項目は国際規格や業界共通の規格に基づいており、さらに審査基準を上げた項目となっています。
- 製品はこれらの規格に従って実験室でテストされています。
- 「フリッカフリー」とは、様々な輝度設定の下で、0 - 3000 Hzの範囲内にこの規格で定義された肉眼で認識が可能、不可能を問わないフリッカーが発生しないことが認められたものになります。
- アンチモーションブラー/MPRT/SLMBを有効にすると、ディスプレイはフリッカフリーをサポートしません。(アンチモーションブラー/MPRT/SLMBの有効性は製品によって異なります。)

規格について

CE順守

本製品はテスト済みであり、欧州連合官報に掲載されている情報技術装置の調和規格に準拠していることが確認されています。

FCC-B無線周波数障害声明

本装置は、FCC 規則パート 15 に準ずるクラス B のデジタル機器の制限に準拠することが試験によって確認されています。これらの制限事項は、住宅地域で使用した場合に生じる可能性のある電磁障害を規制するために制定されたものです。本装置は高周波エネルギーを生成および使用しており、高周波エネルギーを放射する可能性もあるため、指示に従って正しく設置しなかった場合は、無線通信に障害を及ぼす可能性があります。しかしながら、特定の設置状況においては電波障害を起こさないという保証はありません。本装置がラジオやテレビの受信に障害を与えていないかを判断するには、本装置の電源の投入と切断を行って確認します。受信障害が発生している場合には、以下の方法で受信障害を改善することをお薦めします。

- 受信アンテナの方向または設置位置を変える。
- 本装置と受信機の距離を離す。
- 本装置を受信機が接続されている回路とは別の回路のコンセントに接続する。
- 販売店やラジオ/ビデオの専門技術者に問い合わせる。

注記 1

FCC準拠に責任を持つ団体からの明示的な許可を受けることなく、本体に変更や改造が行われた場合には、本装置を使用する権利が取り消される場合があります。

注記 2

放出制限に従うために、シールドされたインタフェースケーブルとAC電源コードを使用しなければなりません。

本機器は FCC 規則パート 15 に準拠しています。操作は次の 2 つの条件により規制されます。

1. 電波障害を起こさないこと。
2. 誤動作の原因となる電波障害を含む、受けるすべての電波障害に対して正常に動作すること。

クラス B VCCI 基準について

この装置は、クラスB機器です。この装置は、住宅環境で使用することを目的とし ていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受 信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

WEEE（電気電子機器廃棄物）に関する声明



欧州連合：この製品に表示されているマークは、製品を一般家庭の廃棄物として処分できないことを示しています。代わりに、使用済みの電気・電子機器をリサイクルのために指定された回収場所へ引き渡す責任があります。リサイクルのための回収場所についての詳細は、お住まいの市役所、家庭ごみの処理サービス、または製品を購入した店舗にお問い合わせください。

化学物質に関する情報

EU REACH規則(欧州議会と欧州理事会規則EC No. 1907/2006)などの化学物質規制に準拠しています。MSIは、製品の化学物質に関する情報を https://csr.msi.com/global/indexで提供しています。

日本JIS C 0950材料に関する宣言

JIS C 0950の規格で規定されている日本の規制要件は、製造業者が2006年7月1日以降に販売される電子製品の特定のカテゴリに重大な宣言を提供することを義務づけています。
https://csr.msi.com/tw/Japan-JIS-C-0950-Material-Declarations

環境ポリシー

- 本機器は、部品の適切な使用およびリサイクルができるように設計されています。製品寿命時に勝手に廃棄しないでください。
- 寿命の切れた製品のリサイクルと廃棄については、地方自治体の担当部署にお問い合わせください。
- MSIのWebサイト <https://csr.msi.com/global/pevn_ewaste> にアクセスして、近くの販売店を検索してリサイクル情報を確認してください。

警告!

画面の過度な使用は視力に影響を与える可能性があります。

推奨:

1. 画面を30分使用するごとに10分の休憩を取ってください。
2. 2歳未満のお子様には画面を使用させないでください。2歳以上の子供の場合は、画面の使用時間を1日1時間未満にしてください。

著作権および商標について

本書はMicro-Star Int' l Co., Ltd.の著作物であり、版権所有。MSIロゴはMicro-Star Int' lCo., Ltd.の登録商標です。記載されているすべての商標はそれぞれの所有者に帰属します。本書の作成にあたっては細心の注意を払っておりますが、本書に記載されている内容の正確性については一切保証いたしません。弊社製品は継続的に改善されています。弊社は、予告なく変更する権利を保有します。

HDMI™、HDMI™ High-Definition Multimedia Interfaceという語、HDMI™のトレードドレスおよびHDMI™のロゴは、HDMI™ Licensing Administrator, Inc.の商標または登録商標です。

技術サポート

製品の問題が発生しユーザーズマニュアルにその解決法が見つからない場合、お買い上げの店または最寄りの代理店にご連絡ください。または、詳細については、https://jp.msi.com/support/ を参照してください。